



建築技術性能証明書

技術名称：くし兵衛工法
—スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法—（改定1）

申込者：地研テクノ株式会社 代表取締役 木村 英明
神奈川県相模原市南区相南四丁目23番15号2階
（本技術の開発は、一般社団法人先端地盤技術グループ、アキュテック株式会社、アートクレーン株式会社、株式会社サムシング、株式会社三友土質エンジニアリング、新生重機建設株式会社と共同で行われたものである。）

技術概要：本技術は、スラリー状のセメント系固化材と原位置地盤を掘削攪拌することで、改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本工法の特徴は、共回り防止翼とその上下の攪拌翼に鉛直方向に突起を設けた独自開発の掘削攪拌装置を用いていることである。

開発趣旨：本技術では、セメント系固化材スラリーと地盤との攪拌性能を向上させるために、共回り防止翼とその上下の攪拌翼に鉛直方向の突起を複数設けた掘削攪拌装置を開発している。この掘削攪拌装置を用いることで、低軸回転数、高速度での施工を可能にするとともに、改良体の品質の向上を図っている。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明の有効期間は、平成31年4月末日までとする。

平成28年4月26日

一般財団法人 日本建築総合試験所

理事長 辻 文 三

記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。

資料1：くし兵衛工法 性能証明のための説明資料

資料2：くし兵衛工法 技術指針

資料3：試験資料

資料4：立会施工試験報告書

資料5：更新資料

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料2は、本工法の施工および施工管理についての技術指針であり、配合設計方法、施工方法および施工管理方法が示されている。

資料3には、資料1で用いた個々のボーリングコアの観察結果や圧縮試験結果等が取りまとめられている。

資料4には、立会施工試験の結果がとりまとめられている。

資料5には、施工実績や運用体制の維持状況などがまとめられている。

証明内容：申込者が提案する「くし兵衛工法 技術指針」に基づいて築造される改良体は、土質に応じて450 kN/m²～2,500kN/m²の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計及び品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層、粘性土層およびローム層で25%を採用できる。
また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。